



地域コミュニティと学校が連携した教育活動等について考える 嬉野市学力向上フォーラムが開催されました



11月10日（日）嬉野市社会文化会館「リバティ」において、地域コミュニティと学校の連携の取組報告と講演が行われました。当日は、保護者、地域コミュニティの方々、教育関係者など、324名の参加者がありました。

【講演】「地域コミュニティと学校の連携した教育活動」

講師 兵庫教育大学大学院 准教授 川上 泰彦 氏



川上先生は、以前佐賀大学文化教育学部で勤務されており、学力向上フォーラムにもパネリストとして出席いただいたり、嬉野市教育委員会評価委員、白石町立北明小学校運営協議会委員等を歴任されたりしており、佐賀県の教育の現状や課題をよく御存知です。今回の講演においては、

- 子育てに関わる様々な立場の大人が、意見を述べて擦り合わせ、思いを交錯させることが大切である。
- 学校の教育活動には限界がある。地域連携により地元で生活をしている大人が関わったり、本物にふれたりすることで、学ぶことに魅力を感じて「学ぶ力」の育成につながる。
- 地域連携を継続するには、何かを教えるということではなく、関わる大人と一緒に学び、楽しむことが重要である。

といったことをお話しいただき、地域コミュニティと学校の連携に当たっての大切な心構えなどを教えていただきました。

【取組報告】「学力向上に係る学校と地域コミュニティとの連携」

報告者 久間地区地域コミュニティ 事務局長 中野 正 氏
嬉野市立久間小学校 指導教諭 上野 明美 氏



【地域コミュニティ 中野 氏より】

- 地域コミュニティのサポートを受け交流しながら体験することによる子どもたちの気づきや興味関心が学力向上につながるのではないが。
- 地域コミュニティと小学校PTAの交流をしてはどうか。
- 取組事例 朝のあいさつ運動
 - 1年生「むかし遊び」体験【生活科】
 - 5年生「はじめてみようソーイング」【家庭科】
 - 6年生「電波教室」【理科】
 - 夏休み「久間っ子寺子屋」
 - 冬休み「しめ縄づくり」等



【久間小学校 上野 先生より】

- 学習過程に体験活動を組むことで子どもたちは考えや認識を深めることができている。地域の方との関わりは子どもの学びを豊かにしている。
- 地元の方による専門的な立場からの指導のおかげで子どもの興味関心が高まり、深い学びにつながっている。
- 地域に目を向けることで地域の良さを知り、地域に根ざした学校づくりにつながっている。

なお、出席者からの主な感想は以下のとおりです。

- 地域コミュニティと連携した体験活動の充実により、子どもたちの興味関心による学力向上に寄与していると感じる。（保護者）
- サポーターをすることで、地域の中で新しい人のつながりが広がり、自分の楽しみと継続、豊かな人生になっていくと感じた。（地域コミュニティの方）
- 子どもたちにチャレンジする教師の姿を見せたい。楽しんで学ぶ姿は、子どもによい影響を与えると感じた。（教員）
- 学校だけではできないことが多く、地域コミュニティ（サポーター）で子どもたちの学びが豊かになり可能性が広がると感じた。（教員）